

平成 32 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
Ⅲ類	I類 A事業所のみを有する特定事業者
	II類 B事業所を有する特定事業者(Ⅲ類の事業者を除く)
	Ⅲ類 C事業所を有する特定事業者
	IV類 任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社高島屋	
所在地	大阪府大阪市中央区難波五丁目1番5号	
事業者番号	0259	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	1,844	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m ² 以上の事業所)		m ²
産業分類名 (中分類)	各種商品小売業	
分類番号 (中分類)	56	
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 資本金等)	事業内容 : 百貨店業、飲食、サービスの提供 資本金総額 : 66,025百万円 従業員(全社) : 13,600人 規模(大宮店) : 地下4階、地上8階、塔屋3階	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
A	025900	タイムズ大宮駐車場	63
B、C事業所			
C	025901	株式会社高島屋 大宮店	1,781
合計			1,844

(4) 公表方法

○	インターネット利用による公表	アドレス	https://www.takashimaya.co.jp/omiya/topics/syousai.html?id=29701
○	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	高島屋大宮店 地下3階総務部
		所在地 1	さいたま市大宮区大門町一丁目32番地
		閲覧可能時間 1	10:00~17:00 ※事前にご連絡下さい
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
	その他		

(5) 公表の担当部署

	名称 (複数可)	連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1	総務部	048-643-1274	048-643-1276	
2				
3				

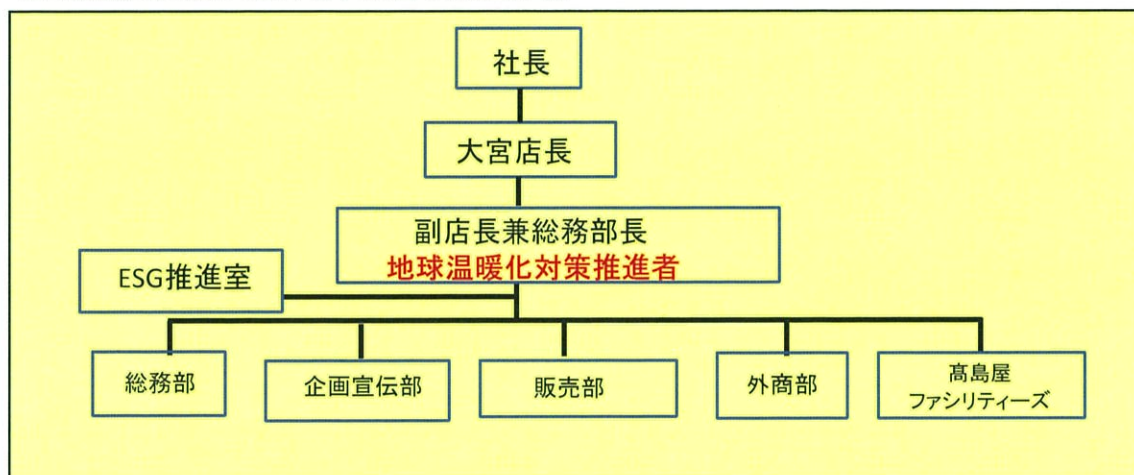
※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

【高島屋環境基本方針】

高島屋グループは地球環境負荷を守るために、地球温暖化防止への貢献に重点を置き、CO₂の削減を中心に様々な活動を行うことにより、環境問題の解決に繋がる21世紀の心豊かなライフスタイルを提供していきます。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO ₂	4,430	4,238	3,868	3,746	3,621
その他ガス					
温室効果ガスの合計	4,430	4,238	3,868	3,746	3,621

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 32 年度

事業者番号

0259

事業所番号

025900

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	タイムズ大宮駐車場	前年度における事業所数	1
代表事業所所在地	市区町村	さいたま市大宮区	
	字・地番	仲町2丁目31番地	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	不動産賃貸業・管理業(テナントビルを含む)		
分類番号(中分類)	69		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	駐車場事業 従業員:7名(但し全員が業務委託先の従業員)	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	29	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	平成29年度の排出量原単位(0.0309t-CO ₂ /万m ²)に対して、削減期間(平成31年度)末の削減率を3%以上とする。			
	その他ガス				

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間	32	年度	～	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	第3計画期間内にて排気ファン更新を行い、平成31年度の排出量原単位(0.0195t-CO ₂ /万m ²)に対して、削減期間(平成36年度)末の削減率を5%以上とする。			
	その他ガス				

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	タイムズ大宮駐車場	さいたま市大宮区仲町2丁目31番地
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本工業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
			49	62	63

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO ₂				97	121	123
その他ガス	非エネルギー起源 CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計				97	121	123

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

			計画期間				
			27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO ₂ 排出量原単位					0.0309	0.0192	0.0195
活動規模の指標		生産量					
	○	延べ面積× 営業時間	万㎡h当			3,137	6,290

日本工業規格A列4番

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

No	対策の区分		対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	照明器具のLED化	H30年度	72
2	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	排気ファンの更新	H32以降	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

A large yellow rectangular area intended for free text entry, occupying most of the page below the header and above the footer.

平成 32 年度

事業者番号	0259	事業所番号	025901
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	株式会社高島屋 大宮店		
事業所所在地	市区町村	さいたま市大宮区	
	字・地番	大門町一丁目32番地	
産業分類名(中分類)	各種商品小売業		
分類番号(中分類)	56		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	百貨店、飲食、サービスの提供などの事業 従業員: 750人	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間		27	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	第2計画期間については、期間中の平均削減率を、基準排出量の15%以上とする。				
	その他ガス					
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量 (計画期間合計)	23,421	t-CO ₂			
	削減目標量 (計画期間合計)	4,134	t-CO ₂	事業所区分	第1区分-(1)	

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		32	年度	~	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	第3計画期間については、期間中の平均削減率を、基準排出量の22%以上とする。				
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	2,267	2,180	1,921	1,846	1,781

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂		4,430	4,238	3,771	3,625	3,498
その他 ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		4,430	4,238	3,771	3,625	3,498

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

			計画期間				
			27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位			0.0372	0.0367	0.0338	0.0325	0.0316
活動規模の指標		生産量					
	○	延べ面積× 営業時間	千m ³ h当	118,957	115,611	111,444	111,580

日本工業規格A列4番

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	5,511	t-CO ₂ /年
基準排出量検証	基準年度検証実施済	

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更量	
変更年度		変更量	
変更年度		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第1区分-(1)
----------	----------

(4) 削減計画期間

27	年度から	31	年度まで
----	------	----	------

(5) 年度ごとの状況

		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	削減期間 合計	
基準 排 出 量 等	基準排出量(A)	5,511	5,511	5,511	5,511	5,511	27,555	
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%		
	排出上限量 (C = ΣA-D)							23,421
	排出削減目標量 (D = Σ(A×B))							4,134
実績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	4,430	4,238	3,771	3,625	3,498	19,562	
	排出削減量 (F = A - E)	1,081	1,273	1,740	1,886	2,013	7,993	
特例	高効率設備の 算定量(※)							

※ 算定を希望する場合のみ記入する。別途、算定資料(任意様式)を添付すること。

 (6) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

<ul style="list-style-type: none"> ・空調機稼働のスケジュールの見直しによる電力量の削減 ・店内照明の点灯時間見直しによる電力量の削減
--

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量 (t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管理	事務用エレベーター4号機、6号機更新	H28年度	4
2	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	照明器具のLED化	H28年度	46
3	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	エアコン改修 12台	H28年度	10
4	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	2階AC-9空調機の更新	H28年度	26
5	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	照明器具のLED化	H29年度	30
6	120200	熱源設備・熱搬送設備	12_冷凍機の効率管理	冷温水発生机更新 チラーユニットへ	H29年度	
7	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	6階AC-13空調機の更新	H29年度	26
8	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	ESCO事業導入	H29年度	
9	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	7階AC-14空調機の更新	H31年度	26
10	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	3階AC-10空調機の更新	H32以降	26
11	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	4階AC-10空調機の更新	H32以降	26
12	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	5階AC-10空調機の更新	H32以降	26
13	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	8階AC-10空調機の更新	H32以降	26
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本工業規格A列4番

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

A large yellow rectangular area intended for free text entry, occupying most of the page below the header and section title.